

特集

# 夏はじまる・はじめる節電所

わかやま「節電所」建設プロジェクト2014



## CONTENTS

P2

### 県内地域の取り組み

「小水力発電」学習会を開催  
「元気ゆら！ふるさとフェスティバル」で今年も啓発活動  
わかやまのエネルギー学習会

P3

### 夏はじまる・はじめる節電所

わかやま「節電所」建設プロジェクト 2014

P4 - P5

### 節電を習慣化するには？

～無理なくはじめる3つのステップ～

P6

### 県情報、県センター情報

P7

### 推進員さん訪問記⑨ なるほど ザ・ワード

P8

### INFORMATION

## 「小水力発電」 学習会を開催

2014年6月22日  
伊都・橋本地球温暖化対策協議会

九度山町ふるさとセンター

6月22日、小水力の可能性を探る「小水力発電学習会」が開催されました。

この学習会は「紀北の地域作りを考える会」と「伊都・橋本地球温暖化対策協議会」が共同で開催したもので、再生可能エネルギーである小水力を地域の復権運動にしようと、小水力に興味のある市民約20名が集いました。

内容は関西小水力利用推進協議会理事の古谷氏による

「地域住民の力で小水力発電」と題して小水力発電の現状についての説明。次に、伊

都・橋本協議会代表の佐藤氏

による「地域の復権としての地球温暖化防止活動」につい



て。さらに、田辺市中辺路町近露の辻野氏からの「近野電力構想」と興味深い話が続き、大変有意義な学習会となりました。

最後に、これから進め方について参加者らで議論が交わされ、各地域で小水力発電を実現しようとする気運が高まりました。今後は候補地の選定と地域住民との話し合いを通じて実現に向け取り組んでいきたいと考えています。

## 「元気ゆら! ふるさとフェスティバル」で 今年も啓発活動

2014年6月1日

由良町 白崎海洋公園 [エコネット紀中]



最高のロケーションと最高のお天気に恵まれた「元気ゆら!ふるさとフェスティバル」。今回で5回目の出展となります。6月といえば環境月間。その初日に当たる開催日ということもあり、エコネット紀中は一同に張り切って啓発活動に励みました。やはり夏といえば節電。意識を持つ取り組んでもらえるよう実験器具を使って説明したり、啓発チラシ、環境家計簿カレンダーも配布。用意した200部すべてを渡すことが

来場者で賑わいました。

会場には地元のシンガーソングライターのミニライブや、「紀の国わかやま国体」マスコット「きいちゃん」を筆頭に、吉本芸人のゆるキャラ、日高地方のゆるキャラなど10人?も大集合し、多くの

今年度、和歌山市・海南市の推進員を中心に発足したグループ「サステイナブル・フォーラムわかやま（SFわかやま）」による、エネルギー学習会ツアーアーが開催されました。今回は、一般参加も含め16名で出発。

スタートは関西電力(株)御坊発電所から。ここでは火力発電のしくみと歴史を聞き、管内をバスで見学しました。そして、同じく関西電力(株)の「EEパーク」を見学。風力、太陽光、マイクロ水力などの発電設備について学べ、また遊園地のようなコーナーもあり、子どもから大人まで楽しめる内容でした。

次に御坊木材販所にて、

## わかやまの エネルギー学習会

2014年6月12日

[サステイナブル・フォーラムわかやま]



いよいよ夏本番。気象庁では「冷夏」との予想を発表していますが、わたしたちは温暖化防止活動をすすめていくためにも「熱く」節電に取り組んで行きたいところです。今回も開催する節電所プロジェクトのとりくみと、節電のヒントについて特集します。

# 夏はじまる・はじめる節電所

## わかやま「節電所」建設プロジェクト2014

昨年実施した「節電」の取り組み。今年も県内で大々的にキャンペーンとして展開していきます。ひとりでも多くの参加を得るために、推進員のみなさんの積極的な呼びかけが不可欠です。

### ①まずは「節電チャレンジ宣言」(先着で特典も)

この取り組みに参加いただける方がはじめに「参加宣言」すると3つの特典をゲットできます。参加方法は以下の2通りです。(8月31日まで)

★インターネットから⇒検索サイトで「わかやま 節電」、もしくは <http://wenet.info/save> からアクセスし「新規登録」ページにて必要事項を入力すればOKです。

★FAXから⇒氏名・住所・電話番号を書いて「節電所」プロジェクト事務局[073-499-4735]までお送りください

### ②おうちを「節電所」にする(7~9月)

おうちの節電についてどんなことができそうか、目標をたててみましょう。先のwebサイトにある節電ガイドや定期配信されるメールマガジン「せつでんしょ通信」の配信情報をヒントに無理なく楽しくチャレンジします。

### ③取り組み結果を応募(7月~10月)

いろいろな工夫やアイデア、機器の買い替えなどを記入し、7月20日、8月20日、9月20日を含む、検針票(コピー可)を事務局まで送ってください。1ヶ月だけでもOKです。

応募方法は4種類、担当者への手渡し、webサイト、封筒、FAXのいずれかで応募可能ですが、推進員のみなさまが事前に手渡しされた場合、直接回収によって参加率がグッとあがったという感想が寄せられています。

さらに、木質パウダーを利  
用している温泉施設「きのく  
に中津荘（日高川町）」にて  
木質パウダートイラーを見学。  
最後は、白馬山脈に設置さ  
れた「白馬ウインドファ  
ーム」を見学。ここには、20  
基の風力発電が尾根沿いに並  
んでいます。施設の所長さん  
の説明では、発電量が一般家  
庭約14,000世帯に相当  
とても有難い存在です。

普段の生活で、多くのエネ  
ルギーを消費している私達に  
とって様々な生産現場を知る  
機会となり、とても理解でき  
ました。今後、自然エネル  
ギーシフトに向けた発展を追  
いかけてみたいと思います。



間伐材を活用した木質パウ  
ダーの生産現場を見学。パウ  
ダーが想像以上にきめ細かく、  
とても意外でした。

# ～無理なくはじめる3つのステップ～

## ステップ1 すぐに始められる

### ●見て、気づくアイデア

節電といえば、「こまめにスイッチを消す」が基本ですが、さらにひとつ工夫。それは「行動見える化シール」を貼るというアイデアです。たとえば冷蔵庫のドアに「10秒以内！すぐ閉めよう！」や、テレビの主電源の横に「寝る前にここ押した？」といった具体的なセリフが良いようです。特に家族みんなで考えてつくると、お互いの意識も高まります。



### ●ちょっと変更するアイデア

家電製品の設定変更、一回セットてしまえば、ほとんど無意識に節電できてしまうというメリットがあります。たとえば冷蔵庫なら「強」から「中」にするだけで、年間電力量は61.72kWhの省エネ、約30.1kgのCO<sub>2</sub>が削減、約1,360円の節約に。ただし、食品が傷まないよう注意が必要です。

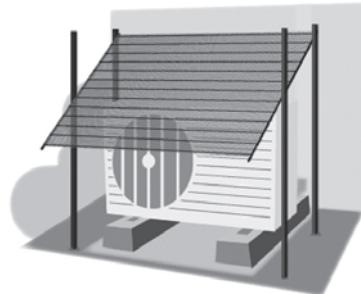
テレビは明るさ変更を「最大」から「中央」に変更すると、年間電力量で約27.10 kWh、13.2kgのCO<sub>2</sub>削減、そして600円の節約になります（32V型の場合）。静電気でいい寄せられたホコリ取りも高効果。

【データ：家庭の省エネ百科 [(財)省エネルギーセンター]】

## ステップ2 少予算でアイデアグッズを活用

### ●昼の光をコントロールするアイデア

夏の太陽は日差しが強く、これをうまく工夫して防ぐことが節電・省エネのカギとなります。たとえば、定番のすだれやよしす。光を外で遮りながら風を通すしくみは、まさに先人の知恵といえるでしょう。とくに西日の差し込むところでは電気ストーブ1台分の熱が差し込むとも言われています。最近は家電量販店やホームセンターなどに「節電グッズコーナー」を設けているところがあります。網戸や扇風機のほかにも、遮光フィルムなど「光を遮る」アイテムがあるので一度チェックしてみましょう。



### ●かぶせて冷やすアイデア

同じくホームセンターで手に入れられるアイテムとして「室外機日よけ」も高い効果が得られます。エアコンの室外機を直射日光から守ることで、消費電力を抑えることができます。写真のような屋根タイプの他に、アルミカバーを紐でかぶせるタイプもあります。

# 節電を習慣化するには？

昨年、「節電所」に参加した方々から多くの取り組みエピソードが寄せられ、ある共通点が見つかりました。ちょっとした意識づけをするだけで、節電習慣が定着したという内容です。「やるぞ！今日から運動、ダイエット！毎日腹筋200回！」という目標では、なかなか続けることはむずかしいものの。そこで、あまり意識せずにスタートできるヒントを紹介します。

## ステップ3 機器や設備の変更や追加

### ●機器の交換

家庭で「コンセントを抜けないもの」の代表格として「冷蔵庫」があります。これは、特に節電効果が高い家電のひとつです。実際に15年使い続けた冷蔵庫と、省エネ性能表示が★★★★★のものと比べた時に、約半分に減った事例もありました。つまり冷蔵庫のとりかえだけでも節電にも節約にもなります。長らく使ってきた機器はどこなく愛着がわいて取り替えにくいという気持ちもありますが「ありがとう」と声をかけて新しい家電製品を迎えてみては。



### ●アン-プラグド（プラグなし）の暮らしにするアイデア

「エレキギターからアコースティックギターに」という音楽の話ではありません。「掃除機からほうきに」というお話です。最近家庭の多くは床面がフローリングや畳であることが多く、実は掃除機を使わずともほうきで十分にきれいになります。ある節電所実践者は、ほうきがメインで掃除機は4回に1回の出番しているという工夫も。棕櫚（しゅろ）のほうき・たわしを販売する和歌山県海南市の商店では、品質の高いほうきを揃えており、一生で3本あれば大丈夫と言われるほど長くつかえるとのこと。こういったアイテムを上手に使うことも楽しく節電を続けるきっかけになりそうですね。

## 番外編

### ◆町の「避暑地」を活用する

今年は、電気の不足も予想される中で、特にピーク時の対策として「クールシェア」がおすすめです。日中は、一番暑い時間帯だからこそ、涼を求めて買い物や美術館に出向く方法は取り入れてみたいですね。

わかやま「節電所」プロジェクト2014のwebサイトでは、節電の工夫やアイデアの他に、節電グッズや町のクールスポットなどもご紹介していきます。ぜひアクセスしてみてください。



<http://wenet.info/save>

わかやま 節電

検索

# グリーンカーテン 苗植えイベント開催

2014年5月28日

上富田町立市ノ瀬小学校 [和歌山県]

6月の環境月間に向け「グリーンカーテン事業の苗植えイベント」が上富田町立市ノ瀬小学校で行われました。県では毎年、応募のあった小学校にプランターやネット、園芸用土、ゴーヤ苗等を無料で配付し、緑のカーテンづくりを推進しています。本年度の実施校は県内60小学校で、昨年の



38校より増加し、実施率が県内全小学校の22%になりました。

この日は、県職員と紀の国わかやま国体のマスコット「きいちゃん」が市ノ瀬小学校を訪れグリーンカーテン



づくりを手伝いました。

はじめに、県職員が児童に『グリーンカーテン大作戦』と称する紙芝居で地球温暖化防止について説明し、『グリーンカーテンクイズ』で緑のカーテン効果について学びます。

そしていよいよ苗植え開始。子どもたちはプランターに底石や用土を入れていきます。すると、国体マスコット「きいちゃん」がゴーヤの苗をもって登場し児童と一緒に作業を行いました。

市ノ瀬小学校では、3年生から6年生が学年の垣根を越えて、体験学習等に取り組んでいます。児童一人一人が役割を果たし、ゴーヤがたくましく育つ様子を身近に感じながら地球環境について考えていきます。7月には市ノ瀬小の校舎いっぱいにゴーヤが育ち、涼しい環境の中で学校生活を過ごすことができそうです。

## 県センター情報

### 県の温暖化防止活動の 展開をめざして

2014年6月9日

平成26年度 第1回和歌山県  
地球温暖化防止活動連絡調整会議

[和歌山県民文化会館 会議室]



本年度、最初の和歌山県地球温暖化防止活動連絡調整会議が開催されました。昨年に引き続き環境省近畿地方環境事務所、和歌山県環境生活総務課、伊都橋本地域協議会、各地の推進員グループが集まり、今年度の活動について協議しました。県センターからは主な事業について説明を行い、続いて各地域協議会・推進員グループからは今年度の取り組み予定についての説明がありました。また「さらに活動を展開するために推進員を増やしていきたい」という意見が各地域からあがり、具体的な対応について、今後協議していく考えが一致しました。

# コジロー(センター長)の 推進員さん<sup>ひょうごん</sup>訪問記。⑨

プロデュース＆マイスター オペラも家庭のエコも喜びづくり

海南市 赤在 依美 さん



海南市で電器店を経営する赤在依美さん。省エネ製品を顧客にお勧めすることも頻繁にある仕事で、お店のテーマにも省エネと減災を掲げてきただけに、地球温暖化問題についての基礎知識はありました。また、推進員を委嘱されるより以前に、県センターと和歌山県電機商業組合が電器店主らを対象に開いた講座を受講し、「地球温暖化と省エネ家電の知識を有する者」として環境マイスターの認定を取得していました。

そんな赤在さんが、第4期の養成講座を受講したのは、改めて地球温暖化について全面的に詳しく知りたいと思ったこと、和歌山県での対策が学べることや一緒にできる活動がみつかることを期待したことでした。その講座では様々な業種の受講生と知り合い、また幅広い年齢層の方との意見交換で教えてもらうことも多く、大きな刺激を受けたそうです。

赤在さんの場合、推進員になってからの活動も日々のお仕事に直結しています。

たとえば、お勧めした家電製品が本当に省エネでおトクになっているのか、エコワットを活用して消費電力のデータを取り「見える化」して納得してもらうこと。それがさらなる省エネ、ひいては温室効果ガス削減への動機づけになります。

また、店では顧客サービスにカメラや健康などをテーマとするセミナーを継続して開いていますが、その一環で省エネ節電のセミナーも開催。地球温暖化について理解してもらうとともに、ご家庭の二年分の検針票と新規に導入した家電製品からエコワッ

トでデータなどを活用し、一年後の消費電力の変化の原因を突き止めるなど、各家庭の実態に即した具体的な話で、さらに省エネ節電への意欲がわくようになっています。

「生きたデータって面白いんですよ、きちんと調べれば必ず説明できますから」

さらに、省エネルギーセンターにより省エネ型製品普及推進優良店に選出されたことがきっかけとなり、年に数度は同センターからの依頼を受けて、小中学校へ温暖化や省エネ節電の出前講座に出かけることもあるそうです。

## —これからやりたいことは？

「ずっと省エネ中心にやってきたけど、これからはもっと森や自然の中に入っていきたいかな」

「環境問題を、もっと広い感じで知りたいです」

## —センターに何かご提案は？

「推進員もセンターも、努力することが一般の人々に伝わっていなくてもいい」「県民の友でもわおん通信でも、もっと広げてまず知ってもらうことが大切じゃないかな」

—和歌山でのオペラ公演のプロデュースでも活躍しておられましたね。

「要するに雑用係なんですが、皆さんに喜んでもらえるのがうれしくて」

「今はとてもそんな時間ないけど」とおっしゃる赤在さん。「だけど、参加はしたいですね、オペラでも森でも」と、笑顔で結んでくださいました。

## STOP温暖化・焦点の言葉 ⑨

\* 地球温暖化をめぐる報道などで、いま焦点となっている言葉を簡単に解説します

## なるほどサ・ワード

### CCSって？

「Carbon Capture and Storage」の頭文字をとった言葉で、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を回収・貯留する技術のことです。

CO<sub>2</sub>など温室効果ガスによる地球温暖化を防ぐには、省エネや再生可能エネルギーへの転換でCO<sub>2</sub>の排出量自体を減らす対策が不可欠ですが、発生したCO<sub>2</sub>を排出源から直ちに回収して処分するCCSも有効であるため、大規模なCO<sub>2</sub>発生源である火力発電所や製鉄所での実用化が急がれています。

CO<sub>2</sub>の回収には4種の方法が考えられおり、例えば大規模排出源では吸収液に溶かして分離する方法が有望とされています。また貯留場所としては地中、海底、海水

が想定されていて、いまのところはCO<sub>2</sub>に圧力をかけて地中の油田や天然ガス田に押し込み、その圧力で原油や天然ガスの増産に役立てる試みられています。

ただ、貯留できる量に限界があることや、貯留したCO<sub>2</sub>が将来漏れ出す恐れに加え、相当のコストを要すること、CO<sub>2</sub>の回収・貯留にエネルギーを要しこれがまたCO<sub>2</sub>の排出増につながる面もあることなどから、技術的に実用段階に達したとしてもCCSは温暖化対策の決定打にはなりません。とはいえ、短期間に大量のCO<sub>2</sub>を処分できることから、地球温暖化を遅らせる効果は確実にありますので、CCSにより低炭素社会へ移行する時間を稼ぐことが期待されています。

## イベント案内

### ●夏休み木工クラフト体験

小枝や竹、松ぼっくりやどんぐりなど自然の素材で世界にひとつだけの素敵な作品を作れます。夏休みの自由工作にピッタリ。

**日時** 2014年 7月19日(土)  
～8月17日(日)  
までの毎週土日祝日（計11日間）  
10:00～12:00、13:00～15:00  
(材料がなくなり次第終了します)

**場所** 下記番号にお問い合わせください

- 材料費：200円～（別途入園料が必要です）
- 申込・問合せ：根来山げんきの森俱楽部事務局  
0736-61-7233（公園管理棟、火曜日定休）

### ●平成26年度 「共育支援メニューフェア」

県教育委員会主催のイベント。学校機関に対し、専門的な知識を持つ NPO をはじめ国や県、大学などが支援するしくみづくりの一環として相互理解を深めるイベントです。今回、県センターからも出展する予定です。

**日時** 2014年 8月20日(水) 14:00～16:00

**場所** 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛  
1階展示ホール

- 参加：無料（一般来場可能）
- 問合せ：教育庁生涯学習局生涯学習課  
073-441-3721



**日時** 2014年 8月24日(日)  
13:30開場 14:00開演

**場所** 紀南文化会館 大ホール

- 入場料：前売り2,500円（当日3,000円）  
・高校生以下2,000(当日2,500円)  
※自由席  
※小学生未満のお子様のご入場はご遠慮ください。
- 申込・問合せ：Tエージェンシー谷本  
080-5633-2297
- チケット販売所：紀南文化会館  
0739-25-3033 (8:30～19:00・休館日を除く)  
岩本楽器  
(グルメシティー田辺ショッピングセンター3階)  
0739-25-2912



2014 夏号 vol.13



発行／和歌山県環境生活総務課  
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1  
TEL: 073-441-2690 FAX: 073-433-3590  
mail: e0317001@pref.wakayama.lg.jp

編集・お問合わせ／和歌山県地球温暖化防止活動推進センター  
〒641-0014 和歌山市毛見996-2  
TEL: 073-499-4734 FAX: 073-499-4735  
mail: wenet@vaw.ne.jp



この情報誌は古紙配合率100%  
再生紙を使用しています。